

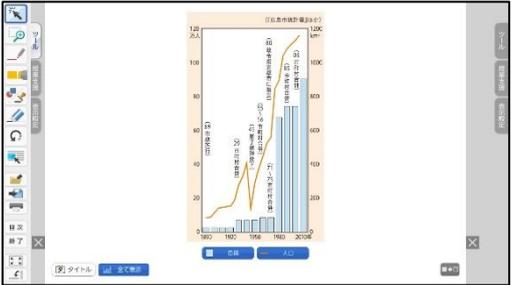
◆**単元名**：第3章 日本の諸地域① 日本の西南部 2 中国・四国地方

「②中国・四国地方の中心 広島」(教科書 pp.176-177)

◆**本時の目標**：

中国・四国地方において地方中枢都市となっている、広島市の都市化によって起こる課題について理解する。
地形図の新旧比較から、広島市の都市の発達について歴史的な変化を読み取ることができる。

《本時の展開例》

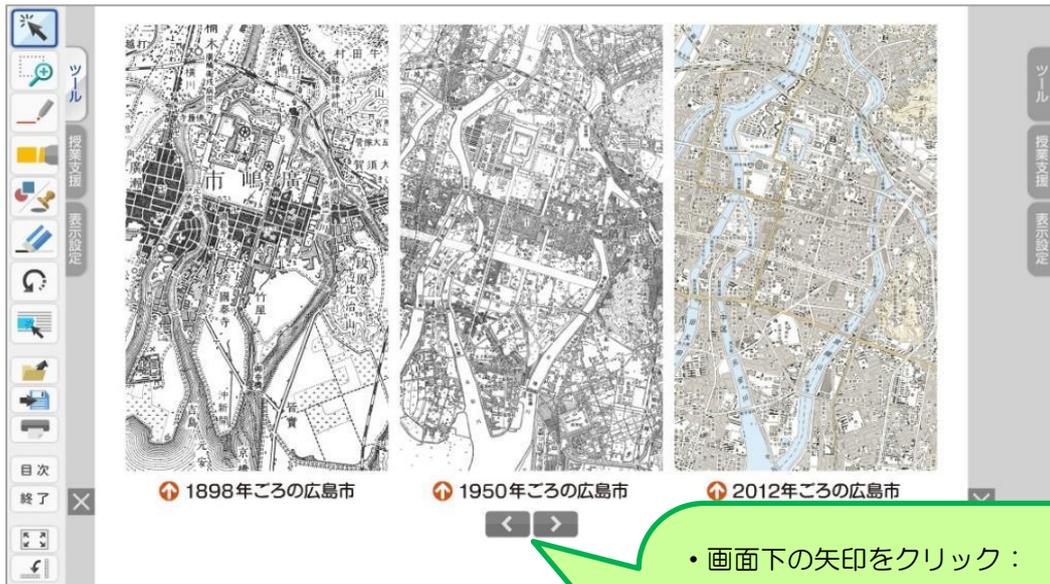
| | 学習活動 | 留意点 | デジタル教科書・教材 |
|--------------|--|--|--|
| 導入 (5分) | <p>●「第2章 世界からみた日本のすがた」で学習した日本の地形を復習する。</p> <p>【問】画面の地形を何と呼びますか？</p> | <ul style="list-style-type: none"> 画面下方に海が見えることを強調し、どこか考えさせる。 三角州と扇状地の違いを整理する。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書 p.140 の資料 4 の写真をスクリーンに映す。 タイトルを最後に表示し、広島市の空撮であることを確認する。 |
| 展開 (35分) | <p>●教科書に収録された地形図を参照し、広島市の変化をとらえさせる。</p> <p>【問】1898年ごろの広島市の地形図を見て気づくことは？</p> <p>【問】その後、広島はどのように変化したか、地形図から変化を読み取ろう。</p> <p>【問】地方中枢都市(教科書タイトル「中国・四国地方の中心」を確認)となった広島市はどんな課題をかかえるようになったのか？</p> | <ul style="list-style-type: none"> 軍都「広島」の発展を解説する。 デジタル教科書の収録データをもとに配布資料(1898, 1950, 2012年の地形図)を作成し、配布する。 グループで地形図の変化を読み取る。生徒の意見を板書する。 原爆投下により「ヒロシマ」がどんな被害を受けたか、その後どう復興したかを解説する。 | <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 pp.176-177 のしかけを活用し、地形図を“スライド表示”させて比較する。 教科書 p.176 の資料 2 を映し、折れ線グラフで1945年の原爆投下による人口減少を確認する。さらに棒グラフで市域の拡大の様子を確認する。 |
| まとめ (10分) | <p>●2015年の土砂災害の背景について考える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事(「今さら聞けない土石流」『朝日新聞』2015年8月29日などが活用できる)を読み、宅地開発と土石流の被害の関連について確認する。 |  |

◆指導にあたって：

- 地理的分野の授業では、地形図や統計の活用などの資料活用能力を高めさせることも目標の一つとしたい。教科書には、1898年、1950年、2012年の地形図が収録されており、デジタル教科書のデータを活用することで、広島市の地域の変化をとらえることができる。本時では、既習事項である日本の地形の復習から広島市へとつなげ、授業を展開することを意図した。
- 生徒たちの話し合いは、班で行う。教師は机間巡視により、各班の話し合いの様子を把握し、生徒の学びが深まっているかどうかを観察し、適宜助言を与えるようにしたい。

◆デジタル教科書活用のねらい：

導入において、デジタル教科書の写真「三角州」(p.140)を提示し、既習事項と関連づける。地形図の“スライド表示”機能を活用し、生徒の意見を学級全体で共有できるようにする。



◆生徒の反応：

- 既習事項と関連づけたため、生徒たちを安心して本時の展開に引き込むことができた。グループワークでは、地図記号などをもとにして広島市の変化を読み取ることができ、活発な意見交換がなされていた。
- デジタル教科書を活用することで、教師の側では生徒がどこに着目していたかをきちんと把握することができ、生徒側にしても理解が深まったようであった。

◆授業を終えての感想・今後の課題：

- 歴史的分野で学ぶ原爆投下と関連づけて学習することができた。地形図を比較させることで古い地形図から過去の様子を読み取ることができるという生徒の気づきがあった。
- 広島市の土砂災害が都市化とどう関わっているのかを考えさせることで、教科書の記載事項をこえて生徒の学びが深まっていたことがわかった。